

令和3年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 北方 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和3年6～7月に、5年生を対象として、「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。運動習慣は、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本年度、本市においては「体力・運動能力」についての調査は実施していません。

1. 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

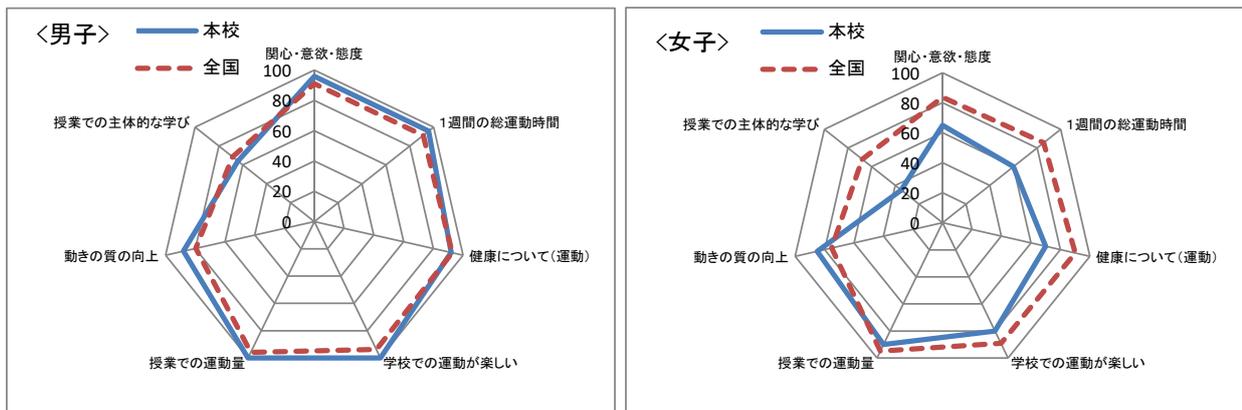
2. 本市における調査内容

- (1) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



質問紙調査の結果分析

「授業での運動量」と「動きの質の向上」については、男女ともに高い値となっている。学校全体で取り組んでいる体育科の授業改善「できた、わかるが実感できるスモールステップの授業」の成果が出てきている。これは、学校独自で行っているアンケートで、運動好きの児童が増加してきていることからわかっている。

課題としては「男女の差が大きい」ことが挙げられる。特に全国平均を大きく下回っている「授業での主体的な学び」について、対策が必要となる。

4. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

体育科の授業改善「できた、わかるが実感できるスモールステップの授業」を継続・発展させていく。女子児童も「動きの質の向上」を実感できているので、それを積み重ねることで関心・意欲・態度の向上につなげたい。年度を越えて継続するために、体育主任を中心に、カリキュラムを改善していく。

「授業での主体的な学び」については、毎年4月に、体力テストの結果を基に、本年度の目標値をそれぞれの児童が設定する時間を設け、主体的に体力の向上に取り組むことができるようにする。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

1週間の運動時間も男女差が大きい。学校では、体育部が中心となって、男女の違いなく参加できる運動「ダンスエクササイズ」の取組を行う。また、放課後や休日にも運動する機会が増えるように、運動習慣の現状や学校での活動をホームページや学校通信等で伝え、家庭と学校で同じ方向を向いて取り組むことができるようにする。